

【とやま温暖化ストップ計画の改定について】

【現行計画】2015年3月改定

《温室効果ガス削減対策（緩和策）》

【削減目標】

2020年度 8%減（2005年度比）

省エネルギーの推進	再生可能エネルギーの導入促進	森林吸収源対策	低炭素型まちづくりの推進	循環型社会の構築	分野横断的施策の推進
-----------	----------------	---------	--------------	----------	------------

《適応策》

自然生態系	食料	健康	防災
立山の植生の状況把握等	高温耐性品種の開発等	熱中症に関する注意喚起等	防災に関する情報の迅速な提供

【主な課題等】

《（国）地球温暖化対策計画(2016年5月)》

【削減目標】

2030年度 26%減（2013年度比）

部門（産業、家庭等）ごとの取組

省エネルギーの推進	再生可能エネルギーの導入促進	森林吸収源対策	低炭素型まちづくりの推進	循環型社会の構築	分野横断的施策の推進
-----------	----------------	---------	--------------	----------	------------

《気候変動適応法(2018年6月公布)》

適応策の推進

- 適応計画の策定（国、地方自治体）
- 適応策

農林水産業	水環境・水資源	自然生態系	自然災害	健康	産業・経済活動	国民生活
-------	---------	-------	------	----	---------	------

情報基盤の整備

- （国）国立環境研究所
- （地方）地域適応センター

【主な改定の検討内容】

《温室効果ガス削減対策（緩和策）》

【国の計画に即した改定】

- 2030年度目標の設定 等

部門（産業、家庭等）ごとの取組

《適応策》

【気候変動適応法への対応】

- 適応策の一層の推進
- 地域適応計画として位置付け
- 地域適応センター 等